

# 2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

2021年9月3日

株式会社グローバルインフォメーション

JASDAQスタンダード 証券コード：4171



*Global Information, Inc.*

1. 会社概要
2. 2021年12月期 第2四半期 決算について
3. 2021年12月期 事業計画について

1. 会社概要
2. 2021年12月期 第2四半期 決算について
3. 2021年12月期 事業計画について

2021年6月30日現在

社名	株式会社グローバルインフォメーション Global Information, Inc.
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. 市場調査レポートの販売 2. 年間情報サービスの販売 3. 委託調査の受託 4. 国際会議・展示会の代理販売
経営理念	当社は最適な市場情報をタイムリーに提供することにより、お客様の意思決定を支援し、各業界の意義ある活性化に貢献し、ひいては社会の発展に寄与する。社員がひとりひとり責任と誇りを持って満足して働く環境を創出する。
設立	1995年1月
代表者	小野 悟
資本金	135,521千円
従業員数	45名（臨時従業員：17名）
連結子会社	1社（株式会社ギブテック）
株主数	1,298名

2021年6月30日現在

社名	株式会社ギブテック（英語表記：Giv-Tech, Inc.）
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. LPWAネットワーク機器の製造・販売 2. LPWA通信ネットワークの導入・運用支援サービス
設立	2020年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	30,000千円
主要株主	株式会社グローバルインフォメーション（100.0%）

お客様にとって真に価値のある情報を精査し、お届けすることが私たちの使命です。

世界の先端分野の市場動向や技術動向。その最新情報を25年以上お届けしてきました。

当社は世界6か国に拠点を持ち、250社以上の調査会社と代理店契約を締結する市場情報提供会社です。

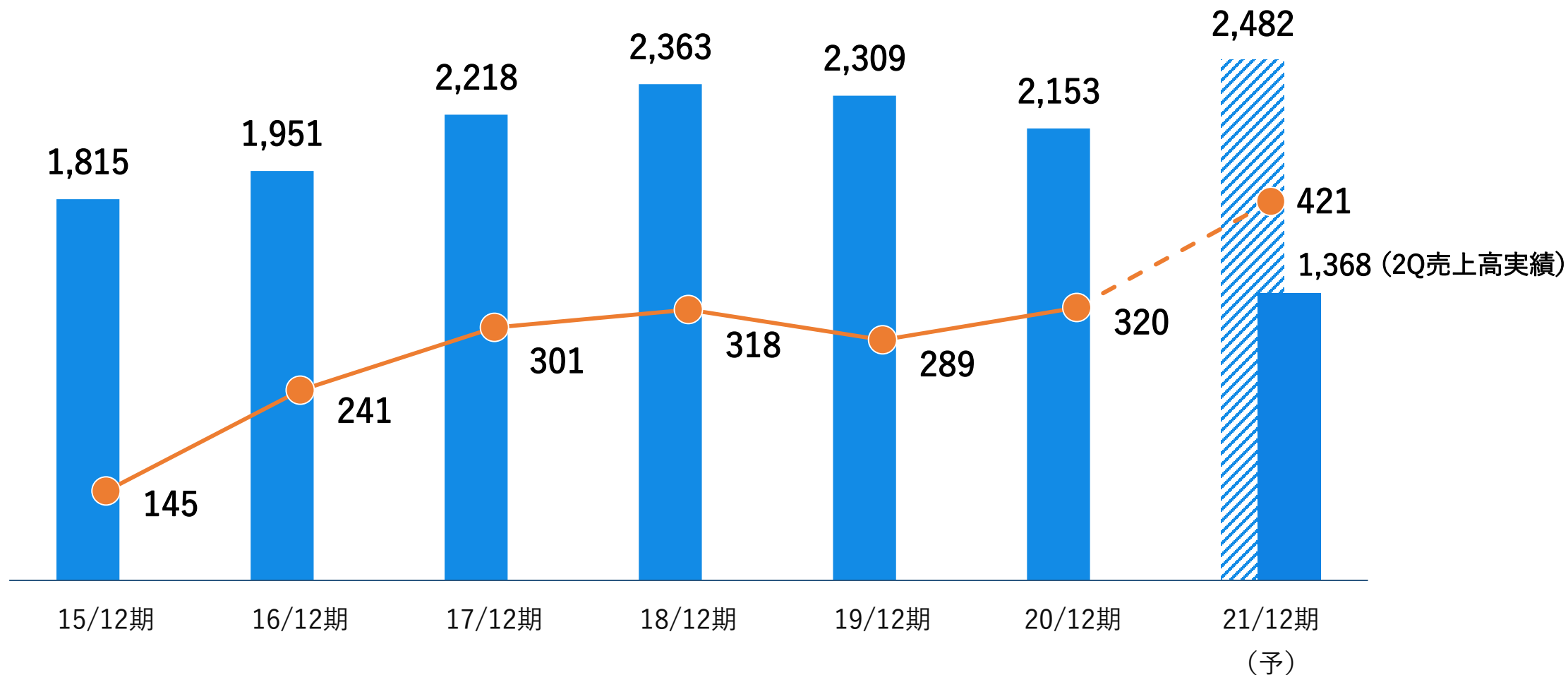
お客様の情報ニーズに的確にお答えする調査資料の提案、個別調査はもちろん、各国で開催される国際会議や各種セミナー情報、参加申し込みなど、総合的な情報サービスを提供しています。お客様の意思決定を支援し、事業展開に寄与できる最適な情報をタイムリーに提供することで、各業界・産業界の活性化に「情報」というフェイズから貢献します。

- 1983年1月 ● 米国及び英国の通信分野のコンサルティング会社及び出版会社の代理店業務を開始
- 1995年1月 ● 株式会社アイジーアイジャパン（当社）を東京都渋谷区に設立
- 1996年7月 ● 商号を株式会社グローバルインフォメーションに変更し、本社を神奈川県川崎市麻生区に移転
- 2000年9月 ● 米国コネチカット州に米国支店を開設
- 2001年3月 ● シンガポールにシンガポール駐在員事務所（現シンガポール支店）を設立
- 2001年10月 ● 大韓民国ソウル市に韓国支店を設立
- 2002年12月 ● ベルギーブリュッセルにベルギー駐在員事務所（現ヨーロッパ支店）を設立
- 2005年2月 ● 台湾台北市に台湾駐在員事務所（現台湾支店）を設立
- 2007年3月 ● 川崎市麻生区内で本社を移転
- 2020年1月 ● 100%子会社株式会社ギブテックを設立
- 2020年12月 ● 東京証券取引所JASDAQスタンダード市場に上場（証券コード：4171）

# 業績推移

■ 売上高    ● 営業利益

単位：百万円



※2015年12月期~2019年12月期は単体、2020年12月期以降は連結



## 市場・技術動向に関する情報提供事業における4事業が主力

市場・技術動向に関する情報提供事業

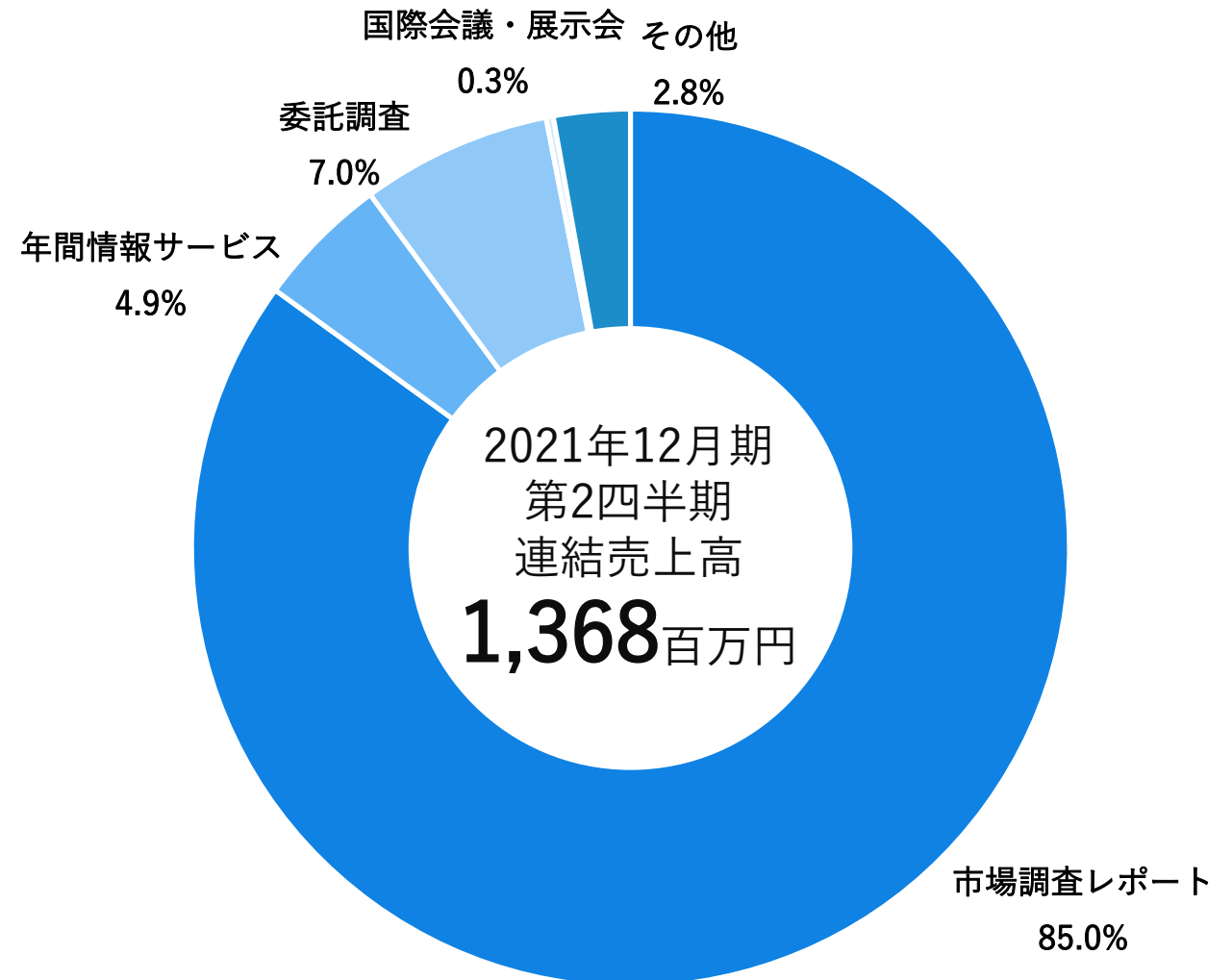
市場調査レポート

年間情報サービス

委託調査

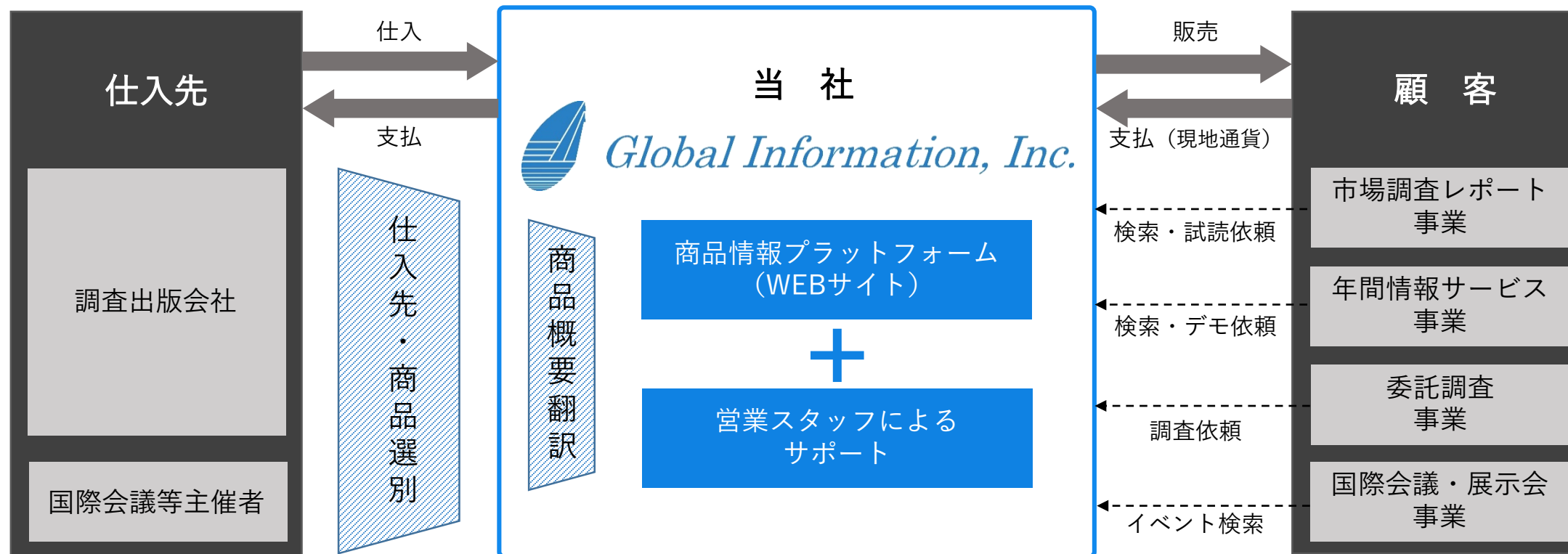
国際会議・展示会

その他事業 (Giv-Tech)



# 事業系統図

多数の調査会社・国際会議主催者から優良仕入先を選別して販売



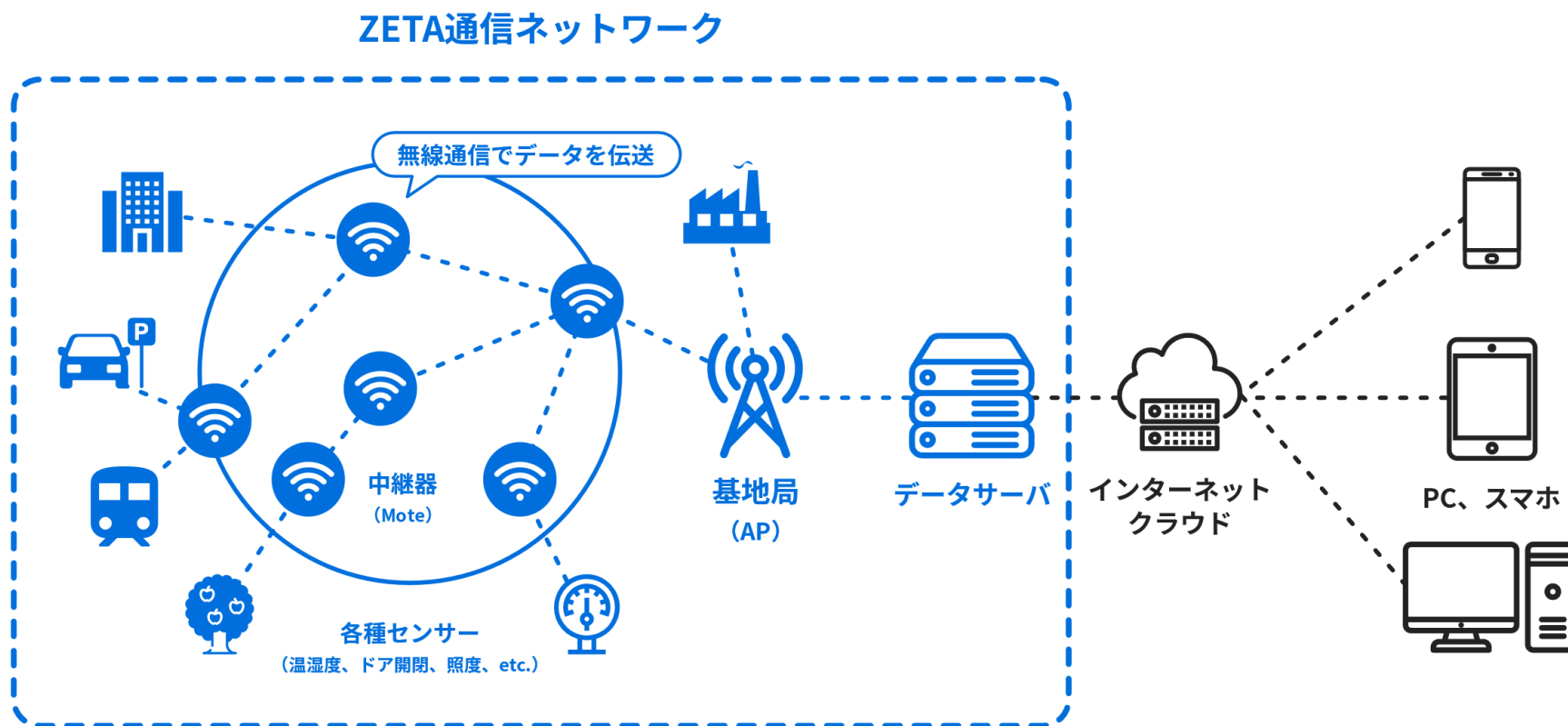
海外の調査会社を中心に**250社**以上と提携、**約10万点**の市場調査レポートを取り扱い

# 取扱いカテゴリー例

成熟市場から最先端のトレンドに至るまで、多種多様な産業分野・市場をカバー

カテゴリー	調査トピック（一例）
通信/IT	IoT、人工知能（AI）、5G、ブロックチェーン、VR/AR、ITセキュリティ、Eヘルス
医療機器	体外診断（IVD）、画像診断、DNAシーケンス、生体モニタリング、細胞培養/細胞探索
マテリアル	炭素繊維、導電性インク、生分解性ポリマー、レアメタル、金属材料、コーティング
医薬品	遺伝子/細胞療法、CAR-T細胞、バイオ医薬品、自己免疫疾患、ワクチン（mRNA等）
産業用機械	ロボティクス、ファクトリーオートメーション（FA）、先進農業機械、無人搬送車
電子部品	紫外線（UV）LED、ヒューマンセントリックライティング、パワー半導体、コネクタ
エネルギー	リチウムイオン電池、燃料電池、水素エネルギー、クリーンエネルギー、ガスタービン
自動車	カーエレクトロニクス、電気自動車（EV）、自動運転技術、車載センサー（LiDAR等）
一般消費財	成人用おむつ、手指消毒剤、パーソナルケア、香料香水、電動自転車
インフラ	上下水/工業用水、膜技術（RO膜等）、ZLDシステム、スマート空港、送配電システム
食料品	機能性食品、培養肉、フードデリバリー、カロテノイド、ビーガン/ベジタリアン
航空・宇宙	ドローン、エアモビリティ、小型衛星、航空機整備・修理・オーバーホール（MRO）
金融・保険	フィンテック、ATM、マイクロファイナンス、デジタルバンキング、ペイメントカード
その他	企業プロフィール調査等、特定の産業カテゴリーに分類できないもの

ZETA通信※ (LPWA) の活用を推進し、IoTにおけるラストワンマイルの整備を通じ、Society5.0で提唱されている超スマート社会の実現に貢献します。



※ ZETA：ZiFiSense社が開発したLPWA (Low Power Wide Area) 通信規格。超狭帯域 (UNB: Ultra Narrow Band) による多チャンネルでの通信、マルチホップ・メッシュネットワークによる分散アクセス、双方向での低消費電力通信などの特長を持つ、IoTに適した最新のLPWAネットワーク規格。

## ZETA通信初の国産ブランド「JAZE」 (ジェイズ) を展開

# JAZE

(商標登録済み)

製造は外部EMS (※) を活用する  
**ファブレスモデル**

※電子機器製造受託メーカー



基地局 (AP)



中継器 (Mote)

1. 会社概要
2. 2021年12月期 第2四半期 決算について
3. 2021年12月期 事業計画について

# 損益計算書サマリー（前期比較）

(単位：百万円)	2020年12月期 (※) 第2四半期累計期間		2021年12月期 第2四半期累計期間		前期比増減	前期比 (%)
		利益率 (%)		利益率 (%)		
売上高	1,122	—	1,368	—	245	121.9
売上総利益	503	44.8	625	45.7	122	124.3
営業利益	182	16.3	290	21.2	107	158.9
経常利益	190	17.0	315	23.0	124	165.4
当期純利益	159	14.2	215	15.7	55	135.0

※当社は2020年12月期第4四半期より株式会社ギブテックを含む連結決算に移行したため、2020年12月期第2四半期については当社単体の業績をご参考として記載しております。

# 通期連結業績予想の修正 (2021年5月13日付)

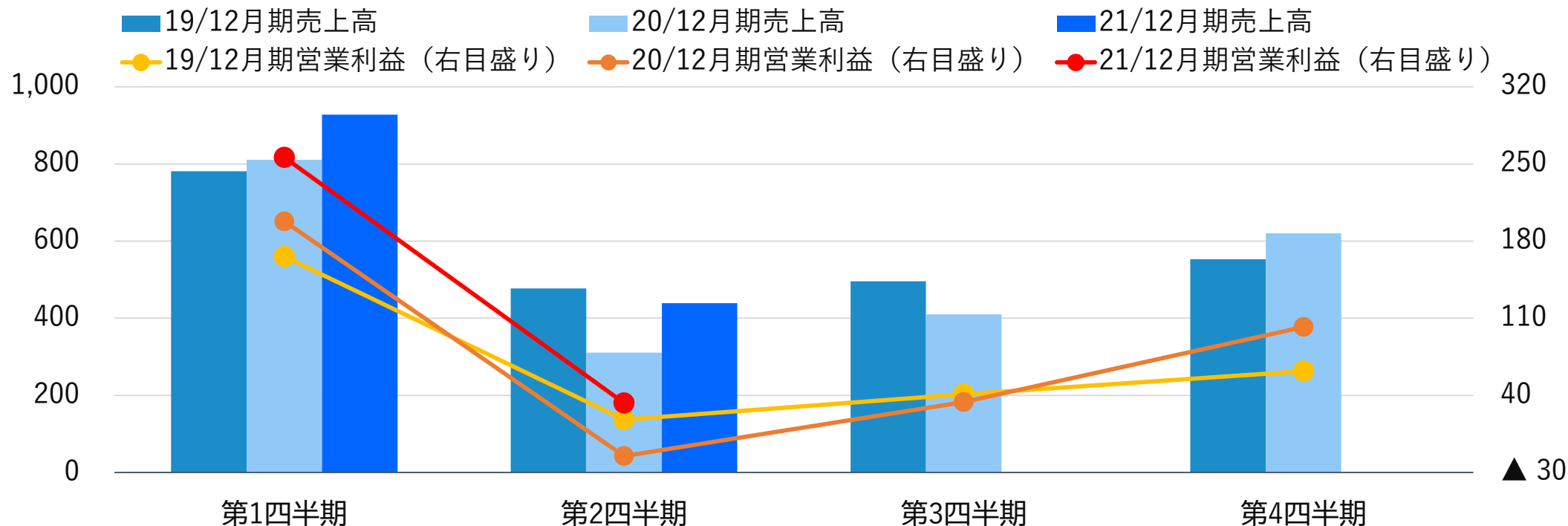
第1四半期において、コロナ禍により海外の情報収集に苦慮する国内企業による当社主力製品である市場調査レポートへの注文が想定を大きく上回り、2月に公表した通期業績予想を修正。

(単位：百万円)	2021年2月12日 公表	2021年5月13日 修正	増減	増減率 (%)
売上高	2,350	2,482	132	5.6
営業利益	352	421	69	19.7
経常利益	362	448	85	23.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	239	304	65	27.5
一株当たり当期純利益 (円)	88.68	113.05	—	—



## ■ 四半期ごとの売上高・営業利益推移 (vs 過去2期間)

単位：百万円

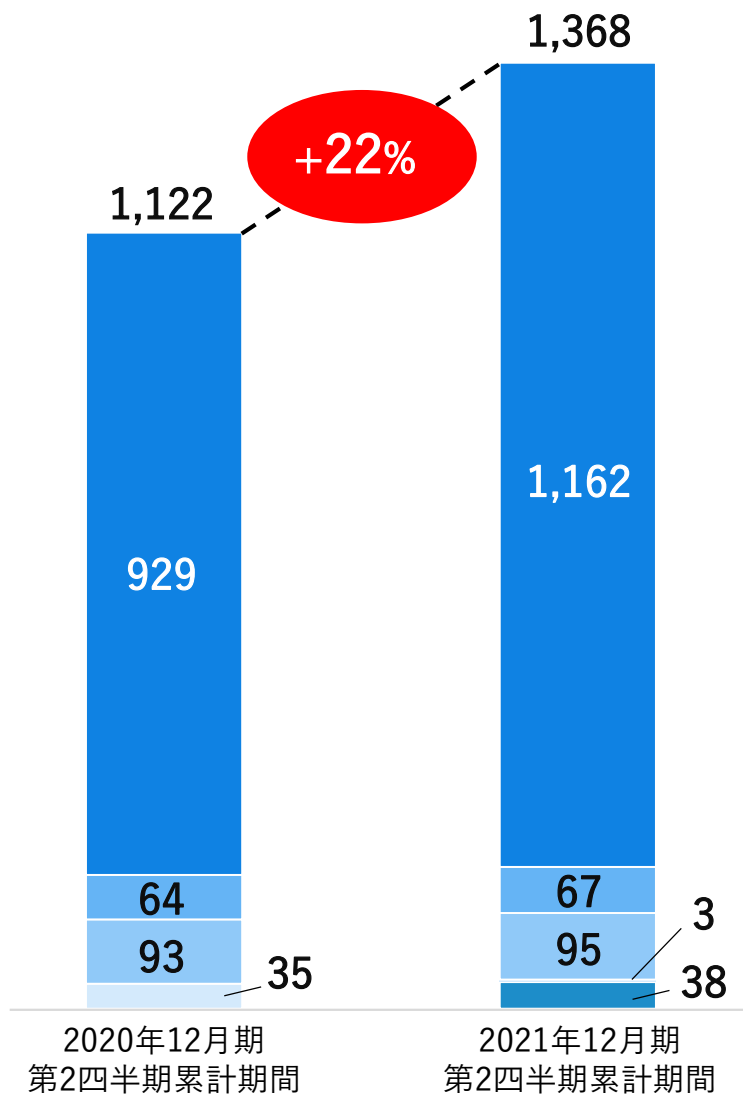


- ✓ 第2四半期までは5月に上方修正後の予算通り、**順調に進捗**
- ✓ 第1四半期は市場調査レポート事業の売上が好調、売上高、営業利益共に過去最高
- ✓ 第2四半期では売上高は主に国際会議・展示会の売上減等により2019年を下回ったが、売上総利益率の高い市場調査レポートの売上が増加し、営業利益では過去2期間を上回った

※2019/12期、2020/12期共に、四半期ごとの数値は監査法人によるレビューを受けていないため、参考値となります。

## ■ 事業区分別売上高

(単位：百万円)



### 市場調査レポート

3月に決算期末を迎える国内顧客企業からの注文が2~3月に大きく増加。4月以降も前期を上回るペースで進捗し、受注件数は第2四半期累計で前年同期比を約2割上回った。売上高は前年同期比約25%増。

### 年間情報サービス

国内での継続案件獲得、韓国での大口新規受注等により、売上高は前年同期を約4%上回った。

### 委託調査

公共セクターからの大型調査案件受注等が寄与し、売上高は前年同期を約3%上回った。

### 国際会議・展示会

新型コロナウイルス感染症によりほぼ全てのイベントがオンライン開催。受注件数、単価共に大きく減り、売上高は前年同期比約90%減。

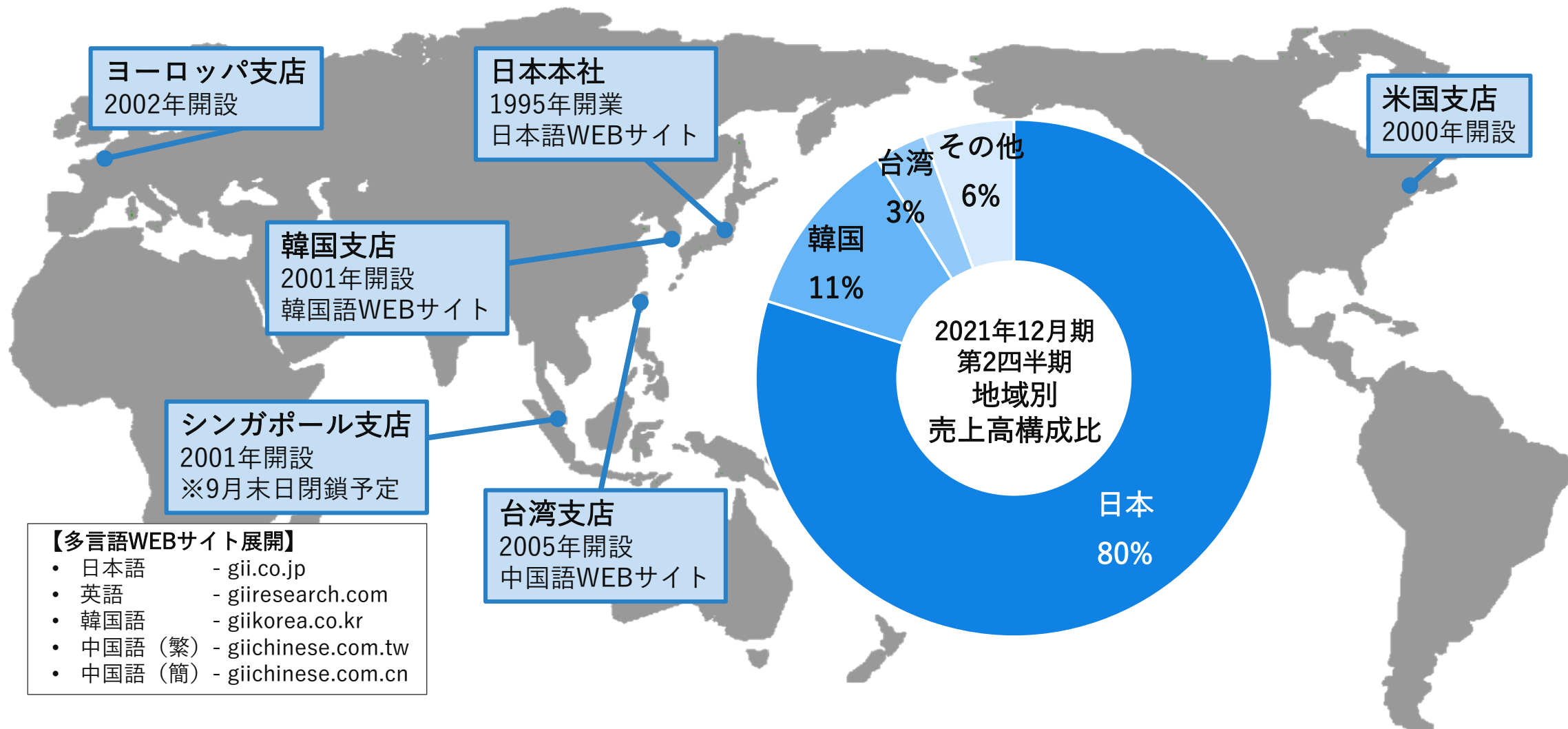
### その他

ギブテックにおいて、第1四半期に高額の製品開発案件を受託。第2四半期は基地局、中継器等のJAZE製品の販売等により売上を計上。

# 拠点別売上高構成

日本を含む世界6か国で事業展開

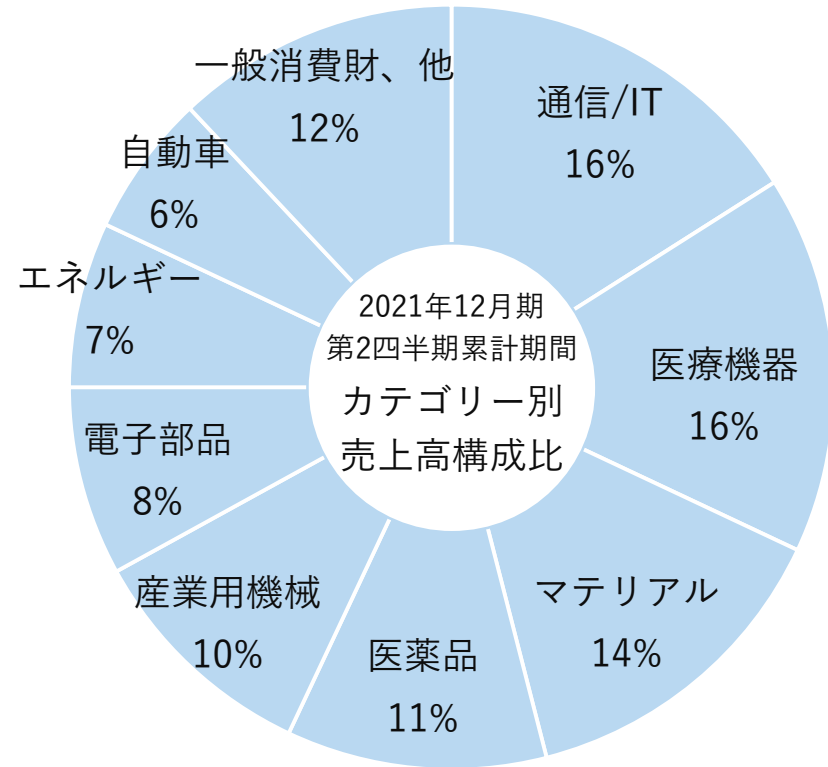
国内比率は約8割



# カテゴリー別売上高構成

今期もカテゴリー別売上高構成は偏りなく、幅広い顧客ニーズに対応

【カテゴリー別売上高構成比及びトピック例】

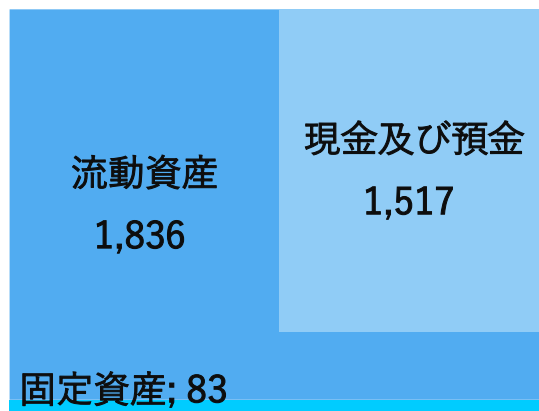


カテゴリー	調査トピック (一例)
通信/IT	IoT、人工知能 (AI)、5G、ブロックチェーン、VR/AR、ITセキュリティ、Eヘルス
医療機器	体外診断 (IVD)、画像診断、DNAシーケンス、生体モニタリング、細胞培養/細胞探索
マテリアル	炭素繊維、導電性インク、生分解性ポリマー、レアメタル、金属材料、コーティング
医薬品	遺伝子/細胞療法、CAR-T細胞、バイオ医薬品、自己免疫疾患、ワクチン (mRNA等)
産業用機械	ロボティクス、ファクトリーオートメーション (FA)、先進農業機械、無人搬送車
電子部品	紫外線 (UV) LED、ヒューマンセントリックライティング、パワー半導体、コネクタ
エネルギー	リチウムイオン電池、燃料電池、水素エネルギー、クリーンエネルギー、ガスタービン
自動車	カーエレクトロニクス、電気自動車 (EV)、自動運転技術、車載センサー (LiDAR等)
一般消費財	成人用おむつ、手指消毒剤、パーソナルケア、香料香水、電動自転車
インフラ	上下水/工業用水、膜技術 (RO膜等)、ZLDシステム、スマート空港、送配電システム
食料品	機能的食品、培養肉、フードデリバリー、カロテノイド、ビーガン/ベジタリアン
航空・宇宙	ドローン、エアモビリティ、小型衛星、航空機整備・修理・オーバーホール (MRO)
金融・保険	フィンテック、ATM、マイクロファイナンス、デジタルバンキング、ペイメントカード
その他	企業プロフィール調査等、特定の産業カテゴリーに分類できないもの

# 貸借対照表

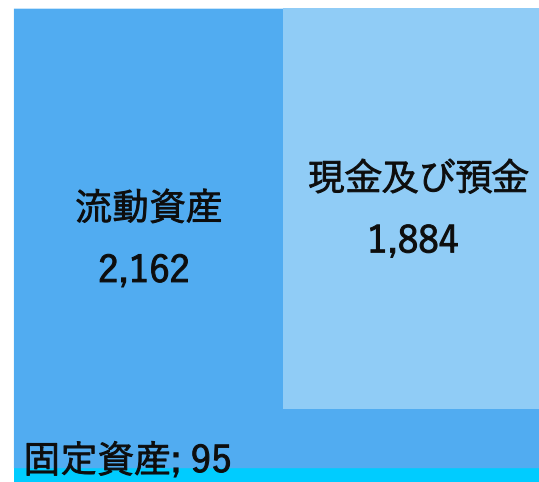
2020年12月期末

(単位：百万円)



2021年12月期第2四半期末

(単位：百万円)



主な増減要因

## 【資産】

- 現金及び預金の増加、売掛金の減少により流動資産が増加

## 【負債】

- 未払法人税等の増加、買掛金の減少により流動負債が増加

## 【純資産】

- IPOに伴う第三者割当増資（OA）及びストックオプションの行使により資本金及び資本準備金が増加
- 当期純利益の計上（+）、配当金の支払（-）により利益剰余金が増加

1. 会社概要
2. 2021年12月期 第2四半期 決算について
3. 2021年12月期 事業計画について

## 各種施策により市場・技術動向情報のトップオブマインドの地位を確立

- (1) ブランド力の向上
- (2) 仕入先との関係強化
- (3) お客様との関係強化
- (4) 商品登録プロセスの効率化
- (5) 海外拠点（英語圏）の強化
- (6) IoT事業（Giv-Tech）の早期収益化

## (1) ブランド力の向上

- 上場による信頼度の向上効果を最大限に活用
- ブランド認知拡大のために外部メディアへ記事寄稿

## (2) 仕入先との関係強化

- 新規仕入先調査会社の継続的な開拓
- 定期WEBミーティング等により優良仕入先と良好な関係を構築

## (3) お客様との関係強化

- オンラインでの試読サービス提供

## (4) 商品登録プロセスの効率化

- 機械翻訳ソフトの活用による商品情報WEBページ作成の効率化

## (5) 海外拠点（英語圏）の強化

- 市場規模が大きな欧米市場でのシェア獲得のため、英語版WEBサイトをオープン



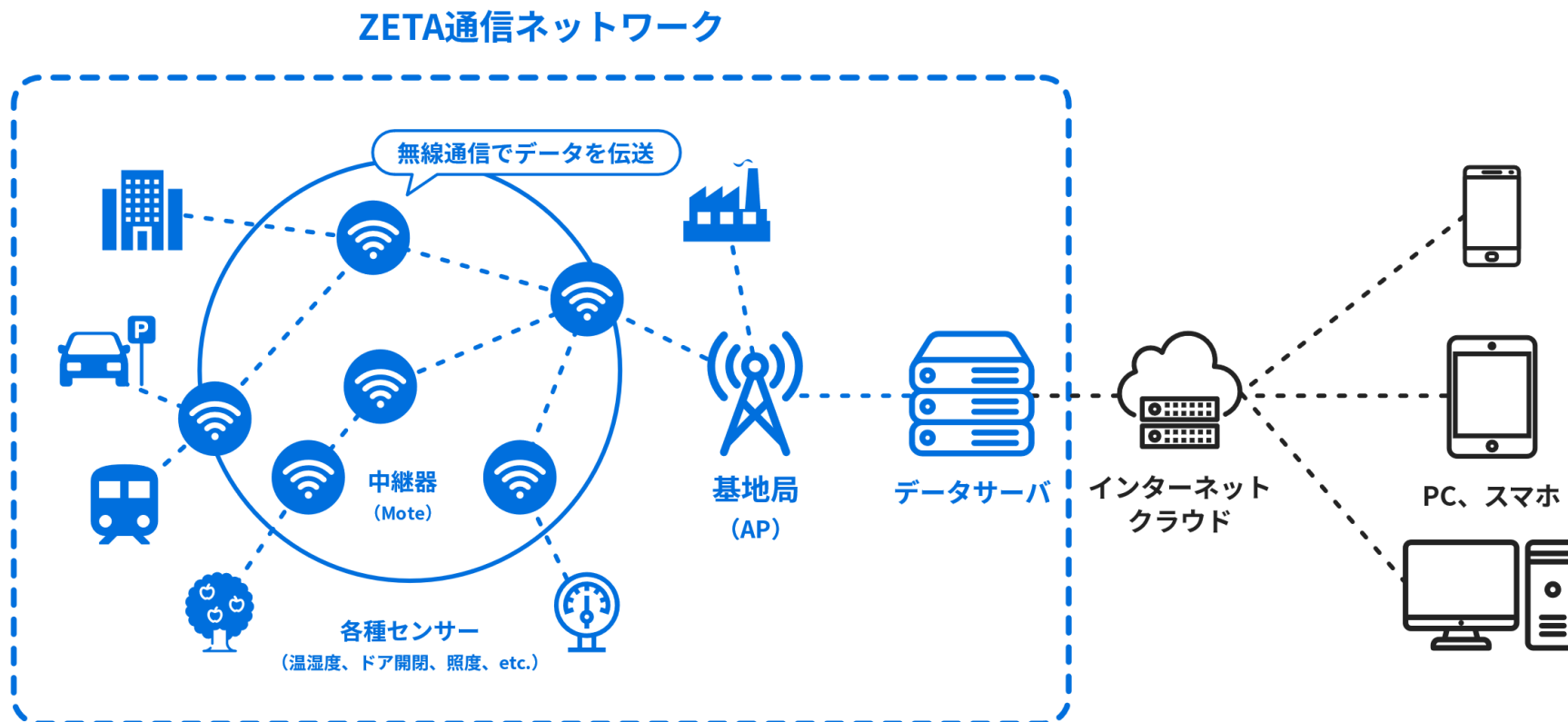
# 英語版 新サイトオープン

## 外部ECプラットフォームを利用したサイトをオープン

The screenshot shows the homepage of Global Information, Inc. The header includes the company logo (Global Information, Inc. JASDAQ 4171), a search bar with the text "Search...", a dropdown menu for "All categories", a search icon, and links for "Login / Signup" and "My account". A shopping cart icon with "0" items and the text "Cart" is also present. The main navigation bar contains "Home", "Market Research Collections", and "Contact us". The main content area features a large banner with the heading "World's First Market Research Aggregator" and the following text: "Global Information, Inc. [4171 JASDAQ] GII - established in 1983 and headquartered in Japan, was the first market research aggregator in the world. For over 30 years, GII has diligently delivered the best solutions to assist clients in acquiring the research they need. We offer the most comprehensive services that can be tailored for each specific client. Buying research online should never be a gamble. Allow GII to be your safety net along the paths of decision making." A "Privacy" icon is visible in the bottom right corner of the banner.

今後、新たなサイトを集客のベースとして活用し、英語でのプレスリリース、広告出稿等、WEBチャネルを利用した販促活動に取り組み、**北米・欧州の顧客の取り込みを狙う**

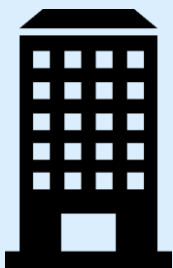
ZETA通信※ (LPWA) の活用を推進し、IoTにおけるラストワンマイルの整備を通じ、Society5.0で提唱されている超スマート社会の実現に貢献します。



※ ZETA：ZiFiSense社が開発したLPWA (Low Power Wide Area) 通信規格。超狭帯域 (UNB: Ultra Narrow Band) による多チャンネルでの通信、マルチホップ・メッシュネットワークによる分散アクセス、双方向での低消費電力通信などの特長を持つ、IoTに適した最新のLPWAネットワーク規格。

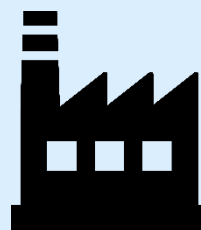
## ZETA通信（LPWA）は様々な場面での活用が期待される

### ■ ビル管理



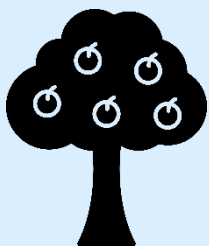
温度・湿度、漏水検知、ドア開閉センサー等からのデータをZETA通信で受信し、遠隔制御が可能  
ビル管理、警備に掛かる**コスト削減**

### ■ 工場



工場内の各種計装類からのデータをZETA通信でリアルタイム受信  
人員削減による**コスト削減**と運転のリアルタイム管理による**生産効率改善**

### ■ 農業



離れた農地の温度、土壌水分量、照度等の情報をZETA通信で受信  
実際に農地に赴いて行う作業量が削減でき、**人手不足の解消**に寄与

### ■ 防災



河川の水位等を遠隔地からリアルタイムに監視可能  
自然災害の兆候をいち早く察知し、**被害を未然に防ぐ**

## ZETA通信用基本デバイス及びスマートビルディング向けセンサー発売開始

### 基本デバイス

#### 基地局 (AP)

JZA91A1



#### 中継器 (Mote)

JZMT91A1

JZMT92A1



### スマートビル向け センサー類

#### 温湿度センサー

JZTH91A1



#### 超音波距離センサー

JZUS91A1

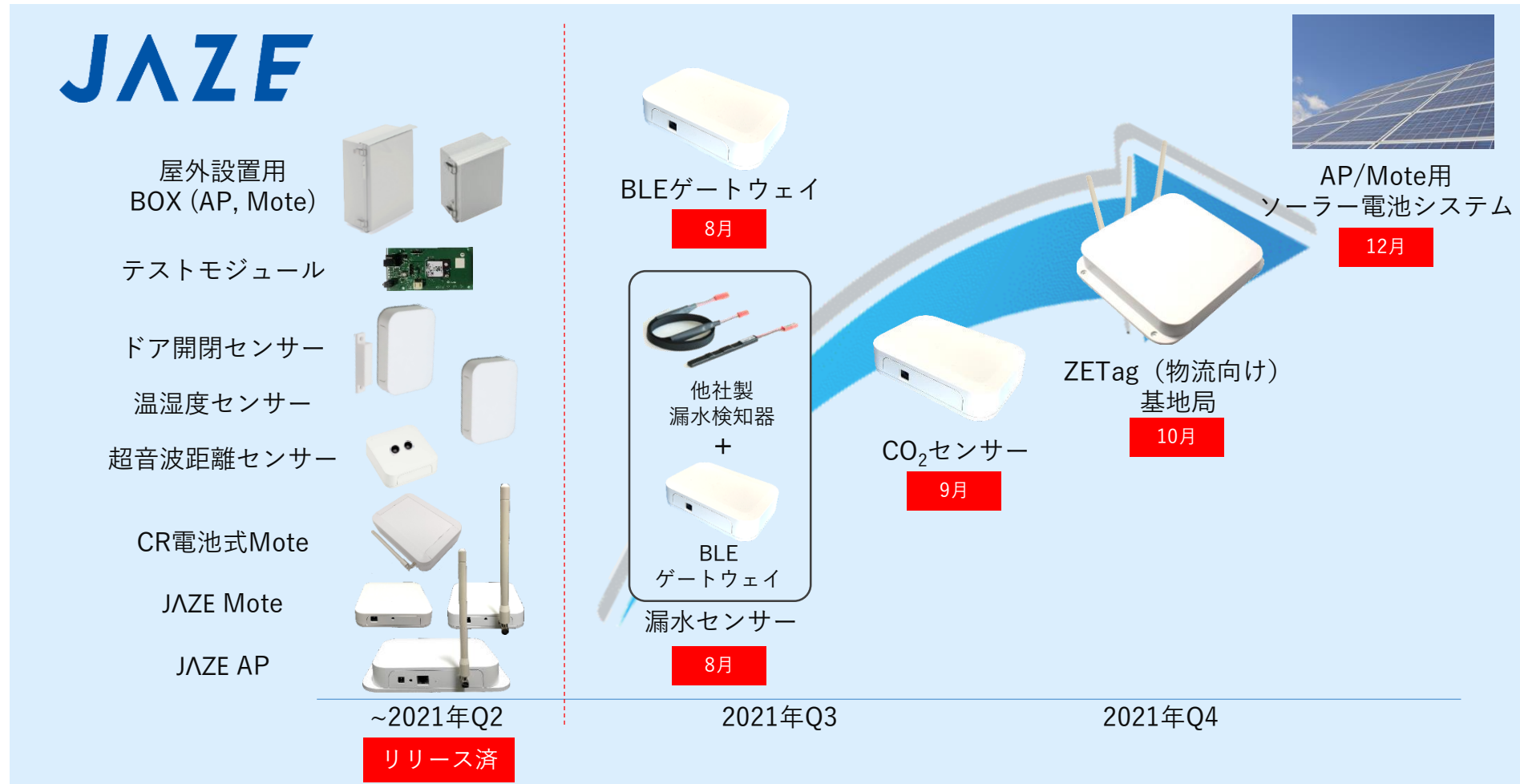


#### ドア開閉センサー

JZHE91A1



スマートビルディング向けセンサー、物流用途向け基地局等のリリースを予定



## 資本業務提携によりAP基板含むZETA関連機器の日本総代理店との関係を強化

### 【資本提携】

テクサー社に第三者割当により30株（所有割合4.76%）を発行

### 【業務提携】

1. ZETA通信関連製品の開発、製造、販売

### 2. 「AP基板」の独占販売

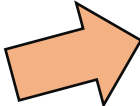

テクサー社は、ZETA通信用基地局の製造に必要とする「AP基板」をギブテックに独占的に販売する



日本国内でのZETA通信用基地局（AP）は  
ギブテックが**独占的に製造・販売可能**

### 株式会社テクサーの概要

名称	株式会社テクサー
所在地	東京都港区芝2-5-19 ITOビル5F
代表者	代表取締役 朱 強
事業内容	LPWA向け電子通信機器の販売並びにSaaSサービス提供
資本金	152 百万円
設立年月日	2016 年 10 月 21 日
大株主 及び持株比率	朱 強 24.33% 凸版印刷株式会社 12.83% ジーファイセンス株式会社 7.34% アイティアアクセス株式会社 6.42%

		要 因	売上高 前期比見通し
市場・技術動向に関する情報提供事業	市場調査レポート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 認知度・信用度向上によるリード増</li> <li>✓ オンラインでの顧客サービス提供</li> <li>✓ 取引実績の少ない顧客層への積極アプローチ</li> <li>✓ 新商品の取扱い増加</li> <li>✓ 英語版新サイトを活用した拡販</li> </ul>	
	年間情報サービス事業		
	委託調査事業		
	国際会議・展示会事業		
その他事業 (Giv-Tech)		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ JAZE基本デバイス及びスマビル向けスマートセンサーの販売拡大</li> </ul>	

(単位：百万円)	2020年12月期 実績		2021年12月期 計画		前期比増減	前期比 (%)
		利益率 (%)		利益率 (%)		
売上高	2,153	—	2,482	—	329	115.3
営業利益	320	14.9	421	17.0	101	131.6
経常利益	332	15.4	448	18.0	116	134.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	255	11.9	304	12.2	49	119.3
一株当たり配当金 (円)	30.0	—	24.0	—	—	—

※2020年12月期の一株当たり配当金（円）には上場記念配当金6.0円が含まれております。

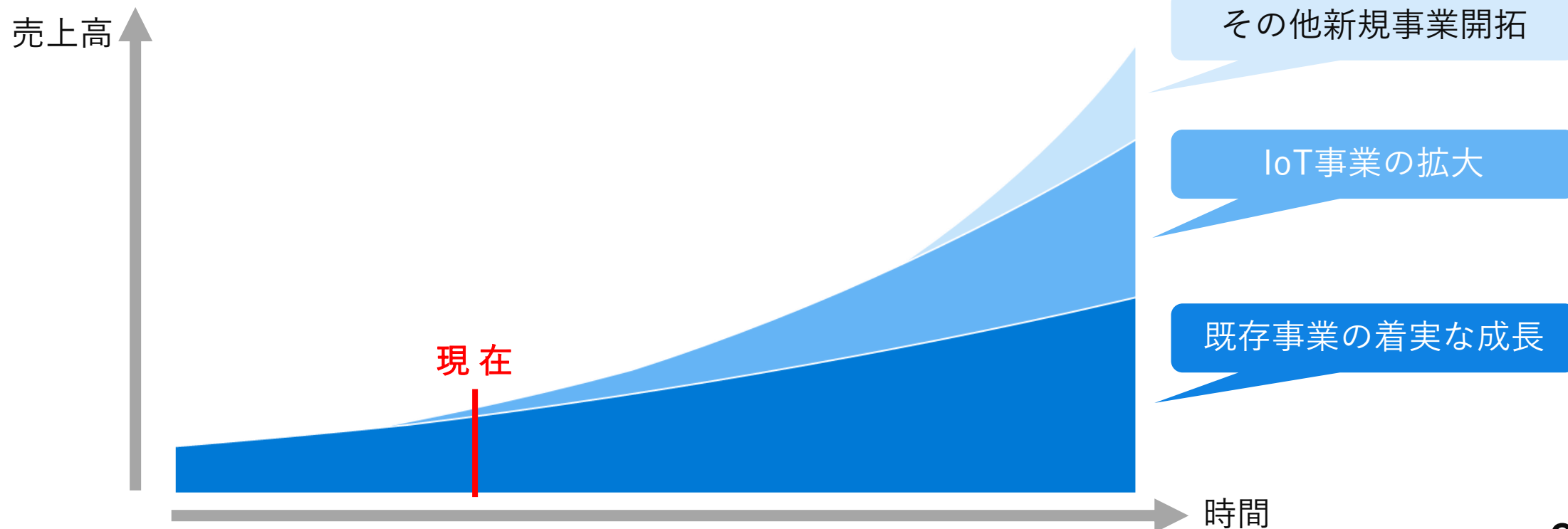


## ■ 市場・技術動向に関する情報提供事業

アジア圏での着実な成長に加え、英語圏でのシェア拡大により **国内No.1から”世界のGII”へ**

## ■ その他事業（IoT関連）

ZETA初の国産ブランド「JAZE」の販売拡大による **非連続的な成長**



#### ■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料発表当日現在で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。